

静岡市清水区感染症発生動向

2014年 46週

集計期間 11/10-16

	-6M	6-12M	1Y	2Y	3Y	4Y	5Y	6Y	7Y	8Y	9Y	10-14Y	15-19Y	20Y-
RS感染症			3	8	1									12
咽頭結膜熱								1						1
溶連菌感染症						1	2		2	3	3	2		13
感染性胃腸炎		4	7	2	5	6	4	5	5	4	4	14		60
水痘			1	1	3									5
手足口病														
伝染性紅斑				1		1		1		2	1			6
突発性発疹		1	1											2
百日咳														
ヘルパンギーナ														
流行性耳下腺炎														
麻疹														
風疹														
マイコプラズマ														
髄膜炎														
MCLS														
小児科Flu						2					1	6		10
小児科定点総数 109 増減 33 前週比 143.4% 定点当たり 18.2 病院:開業医 2:107 増減 +1:+32														
内科Flu														
インフルエンザ総数 10 増減 -8 前週比 55.6% 定点当たり 1.1 小児科:内科 10:0 増減 -4:-4														

総数109、前週の143.4%と増加し、100を越えました。

首位は、感染性胃腸炎、前週比150%、定点当たり10と、増加です。

2位は、溶連菌感染症が、前週比144%、定点当たり2.2で入りました。

3位は、僅差でRSウイルス感染症が、前週比240%、定点当たり2で入りました。

4位が、インフルエンザ、前週比71%、定点当たり1.6と減少です。

5位は、伝染性紅斑が、前週比200%、定点当たり1で入りました。

以下は、定点当たり1未満で少数ですが、水痘が5名、咽頭結膜熱1名報告です。

内科も含むインフルエンザ、前週比55.6%で半減、9定点中、小児科のみ4定点から報告です。全てA型です。

ウイルス分離の結果は、未です。

早くも冬の様相ですが、インフルエンザもありますが、RSが主役の状況です。